自己登録機能マニュアル(教員)

自己登録の許可設定を行う

自己登録許可期間中であれば、学生は、担当教員が許可した コースに対して、自ら履修登録を行うことができます。

自己登録許可期間中は、画面右上に「※自己登録許可期間中」と表示されます。また、自己登録の許可期間は大学の管理者が決定します。

自己登録許可期間中は、マイページの右のリストに自己登録についての案内が表示されます。こちらから自己登録を行います

学生に自己登録を行わせたい場合には、以下の手順で許可の設 定をします。

マイページから許可設定をしたいコースを選択します。
 [コース設定]から、[自己登録の許可設定]をクリックします。
 自己登録の許可/不許可、登録キーの利用の有無を設定してください。登録キーは7桁の数列がコースごとにランダムで割り振られ、自己登録時にそのキーの入力が求められるようになります。
 [保存]をクリックします。

- 初回設定時には、登録キーはまだ発行されていません。[登録キーを利用する]にチェックを入れ、[保存]をクリックすると、登録キーが発行されます。
- 自己登録を許可していないコースについては、自己登録のコース検索画面で検索結果に表示されません。
- 〕許可設定を行ってから、コース検索に反映されるまでに、30分程度時間がかかる場合があります。

自己登録を行う(履修生)

自己登録を行う手順は、以下の通りです。

≻A コースを検索して登録する

マイページから[コースを検索して登録する]をクリックします。
 コースを検索して、登録したいコースを選択します。
 ※ここで、登録キーが必要な場合、登録キー入力画面に移ります。
 コースを確認して、[登録]をクリックします。

検索結果には、担当教員が自己登録を許可している「現在のコース」(学生の利用開始日から書き込み終了日まで)のみが表示されます。

▶B 登録キーを用いて登録する

- 1. マイページから[登録キーを用いて登録する]をクリックします。
- 2. 登録キーを入力します。
- 3. コースを確認して、[登録]をクリックします。

誤って履修登録をしてしまった場合は、コーストップから履修登録 を解除することができます。[履修解除]をクリックすると、履修登録 を解除できます。

※ご利用される環境によって、教務システムと連携をしている場合 は、自己登録許可期間終了後に、履修が自動で解除される場合 があります。正規授業に関しては、教務システムにも忘れずに履 修登録を行ってください。



自己登録の許可設定

自己登録を許可すると、学生は、目らこのコースに履修生として登録することができます。 ※自己登録ができるのは、システム管理者が設定した期間中のみです。期間外には、正規授業の場合、教務システムに 履修登録を行っていないと、このコースから削除される可能性があります。

自己登録の許可設定			
自己登録の許可	◎ 許可する ◎ 許可しない		
登録丰一	図 登録キーを利用する 1219217 「登録キーを利用する」にチェックを入れた場合、自己登録時に登録キーの入力が求められます。 「登録キーを利用する」にチェックを入れない場合、すべてのユーザが履修登録できます。		
	保存		

展修登録したいコー	- スを指定してください。指定条件で絞り込んだ選択表示ができ	ŧđ.		
検索結果に表示され	えることのでくたという おとくれ てい クロバル 盛みながかできる			
1ページに表示する	件数 10 💌			
複数の検索条件をフ コー 検索	カレた場合、すべての条件に合致するコースを表示します。 - スコード コース名 教具名			
コース† 索結果				別の条件で一
コース名をクリック	すると、コースへの履修登録画面を表示します。			
コースコード	コース名	担当教員	年度	学期・曜日 時限
全1件				
int001	国際関係論 🔒	馬場学	2015	前期 日曜日 限
コースへの履修習	禄			
以下のコースに履修 登録するコースが正	登録を行います。 しいか、十分に確認した上で、「登録」ボタンをクリックして・	ください。		
教務システムに履修	登録を行わなかったコースは削除される可能性があります。			
コースコード	コース名	担当教員	年度	学期・曜日 時限
		E 10 4	2015	前期二曜
int001	国際関係講		2013	限